

CP-2025-

基礎能力 I

試験問題

注意事項

1. 問題は **24 題(32 ページ)**で、解答時間は **2 時間**です。
2. この問題集は、本試験種目(基礎能力試験 I 部及び II 部)終了後に持ち帰りができます。
3. 基礎能力試験 II 部の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできません。退室時には、基礎能力 I 及び基礎能力 II の問題集を回収し、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分 教 養	受験番号	氏 名
----------	--------------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

子どもの方が大人よりも透徹した目で、ものごとを見ているとすると、学校における道德の時間に教師はどうすればいいのであろうか。道德を教えるとは、いったいどういうことなのか、という疑問が湧いてくる。このことに答えるために、そもそも道德とか倫理とかは、どういうことなのかについて、もう少し考えてみる必要があるようである。

《中 略》

道德とは、簡単に言えば、人間が生きてゆくうえで守らねばならない規則の総体である。したがって、そのなかには時代や文化によって異なってくるものもある。極端な例で言えば、信号が赤になったら道路を横切ってはならない、などということを知ることが絶対必要な文化圏があるかと思うと、そんなことをまったく知らずに一生を安心してらせる文化圏もある。そんな細かいことを言うから問題になるので、交通道德を守るとは大切であると言えはいい、と言われそうだが、そのような一般論でこと足りののなら、「道德は大切です」の一言ですんでしまうことになる。

道德は生きることにかかわるだけに、きわめて細部にかかわる具体性をもたないと理解できない面と、きわめて抽象的、一般的に述べられる面の両面をもっている。あるいは、外界との関係で、具体的にこのような場合はどうするか、とか、どのような規則に従うべきかなどと、習慣や法律に近づいてゆく面と、あくまで内面的に、それが自分という主体にとってどのように価値づけられ、体系化されるのか、などと、宗教に近接してゆく面ももっている。そして、これらすべてのことを考慮しなくてはならぬところに、道德教育の難しさがあると思われる。

もう一つ大切なことは、子どもは子どもなりに、相当早くから「正義」とか「勇氣」とかがよいことであると知っているが、それをどのように呼ぶか、どのように一般化できるかを知っていない。したがって、道德教育において、「正義」、「勇氣」は大切だと教えられるときには、具体的には知っていることに明確な「名」を与えられることになる。このとき、「名づける」ことの意義はどこにあるのか、どのような意味をもつのか、について教師はよく知っていなければならない。

「名づける」ことは、人間が自分の「知」を自分のものとするうえで、きわめて大切なことである。いろいろな物の特性や用途を知っていても、その名を知っていないと、不便で仕方がない。そのような意味で「正義」という名を教え、正義を行うことは大切である、と教えることは必要である。「正義」という名によって、子どもたちの心のなかにいろいろ具体的なかたちで存在していた体験が一つにまとめられ、自分の心のなかに明確な位置をもつことになるからである。

ところが、どのようなことにも影の部分があると言っていいのだが、名づけることにもマイナスの面があることも、教師はよく知っておかねばならない。それは名づけることによって、硬直化してしまい、以後の柔軟な考えや態度をもつことに対して妨害となるからである。たとえば、「愛国心」などということが、硬化した形で注入されたため、どれほど多くの日本人が不幸な人生をもつことになったかを、われわれは戦争中の体験を通じてよく知っている。

1. 道徳とは、人間が生きてゆくうえで守らねばならない規則の総体である。道徳には時代や文化によって異なってくるものがあり、このことが最も本質的かつ典型的なかたちで現れるのが交通道徳である。
2. 道徳には、きわめて細部にかかわる具体性をもたないと理解できない面と、きわめて抽象的、一般的に述べられる面とがあり、両者は表裏一体のものとして密接に関連している。また、最終的に、前者は習慣や法律として結実し、後者は宗教として結実することとなる。
3. 道徳教育では、子どもたちが「正義」や「勇気」という言葉の概念を一般化するすべをまだ有していないため、教師が子どもたちにこれらの言葉の一義的な意味と具体的な用法・用例を正しく教えることが必要である。
4. 「正義」という名を子どもたちに教えることで、彼らの心のなかに存在していた具体的体験が一つにまとめられ、自分の心のなかに明確な位置をもつことになるが、この「名づける」ことの意味を教師はよく理解していなければならない。
5. 「名づける」ことには、名づけることによって硬直化してしまい、以後の柔軟な考えや態度をもつことに対して妨害となるというマイナスの面があるので、硬直化した徳目をもたらす弊害が大きい場合には、名づけること自体を差し控えるべきである。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

「正直者が馬鹿を見る」問題には、共通した構造が潜んでいる。その共通点は、次の2つに集約される。

条件① 「利己主義者・不正直者として振る舞う行為」は、「正直者として振る舞う行為」よりも、常に「得」をする(これこそが、「正直者が馬鹿を見る」ことになる原因である)。

条件② 「全員が利己主義者」として振る舞う場合に一人ひとりが得られる利益と、「全員が正直者」として振る舞う場合に得られる利益とを比べれば、「全員が正直者」として振る舞う場合に得られる利益の方が大きい。

エコ行動や地球温暖化対策について言うなら、利己主義者として振る舞う方が「得」であるが(①)、だからといって、皆が利己主義者的に振る舞えば、地球温暖化問題を止められずに、最終的に皆が「大損」をすることとなる(②)。

放置駐輪問題については、(撤去・盗難の心配がない場合においては)放置する方が常に「得」だが(①)、万人が放置すれば、駅前の路上は自転車で埋め尽くされ、円滑な歩行・走行ができなくなり、景観も大きく劣化し、万人が「損」をする(②)。

《中 略》

このように考えると、前述した問題はいずれも、皆が目先の“得”に目がくらみ、利己主義者として振る舞うことに“誘惑”されてしまい(条件①)、そして実際に皆がその誘惑に負けてしまえば、結局は全員が“大損”をしてしまう(条件②)、という共通した構造を持っている。

つまり、この問題構造は、(条件①によって)「正直者が馬鹿を見る」だけではなくて、(条件②によって)「互いに首を絞め合う構造」にもなっているのである。

そして、その構造は、タクシー市場問題や共有地の悲劇問題、地球温暖化問題や放置駐輪問題、ゴミの持ち帰りの問題、そして、親の遺言問題、さらには、ここでは論じてはいないものの、資源枯渇の問題や、交通渋滞の問題、商店街の景観劣化の問題、無秩序な都市開発の問題など、様々な社会問題の根底に横たわっているのである。

こうした、二つの条件を満たす社会的状況は、一般に、「社会的ジレンマ」と呼ばれている。「ジレンマ」という言葉は、「相反する二つの事の板ばさみになって、どちらとも決めかねる状態」(広辞苑)を意味するものである。そして、この社会的ジレンマにおける“二つのこと”とは、“私的な利益”と“全体の利益”である。一般に、社会的ジレンマ研究では、全体の利益に資する行為を「協力」(cooperation)と呼ぶ。そして、私的な利益に資する行為を「裏切り」(defection)と呼ぶ。

つまり、正直者の振る舞いは「協力」と言われる一方で、利己主義的な振る舞いは「裏切り」と呼ばれているのである。そして、この状況は、全員が“得”しようと裏切りを選択すれば、結局皆が“大損”をするという意味においても、“ジレンマ”を抱えているものである。

すなわち、「損」と「得」が複雑に錯綜する状況、それが社会的ジレンマなのである。

1. 利己主義者は、正直者よりも得をするため、皆が利己主義的に振る舞うのは合理的な行動であり、地球温暖化問題や放置駐輪問題は、最終的に皆が大損をするまで止まらないと予想されている。
2. 利己主義者として振る舞うことに誘惑されないよう、正直者どうしが互いに監視を行うことにより、「互いに首を絞め合う」緊張状態となる。
3. 利己主義者がそれぞれの私的な利益を追求する場合、二つの相反する私的利益が衝突することによって、社会的ジレンマが生じやすくなる。
4. 資源枯渇や交通渋滞、商店街の景観劣化などの問題はいずれも、社会的ジレンマと呼ばれる、正直者が裏切り行為を選択する状況によって生じたものである。
5. 全体の利益に資する行為を選択すれば損をする可能性はあるが、利己主義的に振る舞うと皆が大きな損失を被る場合もある。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

大昔の人々は、脳はどのようなものだと想像しただろう。胃や肺や心臓ならば体表から動きを感じられるし、実際の造りからもその働きがある程度は想像できる。だが、脳はそうはいかない。脳を眺めてみても、そこで一体何がなされているのかなどさっぱりだ。

脳研究の歴史は、古代ギリシャ時代の医学の祖、ヒポクラテスに遡ることができる。かたや、脳の本質に関わる高次機能研究は1800年代後半になってからだ。ドイツの物理学者、生理学者であったヘルマン・フォン・ヘルムホルツ。彼の輝かしい業績を皮切りに発展したといっても過言ではない。現代の実験心理学や脳科学の基盤を作った人物である。

ハイデルベルク大学生理学の教授だったヘルムホルツは、1867年、私たちが見ているこの世界が、網膜像をもとに推論され作り上げられた世界なのと言った。そう、あなたの周りに存在する数々のものも、見えているものは私たちの脳が推論し作り出したものであって、本当は現実のそれではないのだ。

《中 略》

さらに同年(1867年)、ヘルムホルツはなぜ眼を動かしても世界は止まって見えるのかという疑問を持った。「位置の恒常性」と呼ばれる現象である。たとえば、私たちがスマホカメラの向きをゆっくり変えながら撮影すると、そこに映った映像は流れている。ところが、スマホを置いて眼だけをゆっくり左右に動かしてみるとどうだろう。周りは止まっているように見えないだろうか。

この疑問を解くために、ヘルムホルツはある事実に着目した。それは、眼筋(眼球を動かす筋肉)が麻痺した患者が眼を動かそうとすると、眼球は動かないが、外の景色は「動いて」見えることだった。ここで彼は、眼筋を動かそうとすると、脳から指令が出ると考えた。網膜像が動くことをあらかじめ予測して、その動きをキャンセルする信号を出しているだろうと。

その証拠に、眼球が受動的に動いた際は位置の恒常性は生じない。自分の眼球をまぶたの上から指でそっと押してわずかに眼球を動かすと、脳ではキャンセル信号が出ないから、視覚世界は「動いた」ように見える。

ヘルムホルツのこの斬新な仮説が実験によって検証されたのは、80年後のことだった。1950年、ドイツの行動生理学者フォン・ホルストと生物学者ミッテルシュタットは、ハエの頭を180度回転させた状態で、ハエが自ら動き始めると止まることなく動き続けることを発見した。

これは、ハエが本来自分の動きを予測しその分をキャンセルする指令を出すはずが、頭部を回転させたことによって動きが加算されてしまい、世界が止まって見えずに動いて見えたことで、同じ方向に運動反応が起きたのだと考えられる。その証拠に同じハエを暗室に放つと、通常の動きに戻ったのだ。この実験により、ヘルムホルツの仮説は確認されたのである。

つまり、脳は眼を動かしたときに生じると思われる網膜像の「動きを予測して」、その分をキャンセルさせる信号を出しているのだ。のちに、対象物の位置情報は目の動きだけではなく、首や身体全体の動きとも統合されることで、自分の身体が動いても、脳内では対象物が安定的に表されることが明らかになった。

1. 胃や肺や心臓は、実際の造りからその働きがある程度想像できるのに対し、脳はそれを眺めてもそこで何があるのかが想像できないことから、脳研究は、歴史的に、胃や肺や心臓の研究と比べて遅れて発展してきた。
2. ヘルムホルツの実験から、私たちが見ているこの世界は、私たちの脳が網膜像をもとに推論し作り上げた虚像であり、私たちが周りに存在している数々のものは、本当は現実には存在しないものが多いことが分かった。
3. 私たちがスマホカメラの向きをゆっくり変えながら撮影すると、そこに映った映像は流れているが、その映像に映し出されている対象物は物理的には動いていない。このことを「位置の恒常性」と呼んでいる。
4. 眼を動かそうとすると外の景色が動いて見える眼筋が麻痺した患者が、自分の眼球をまぶたの上から指で押して眼球を動かす場合には、外の景色は止まって見える。
5. 脳は、眼を動かしたときに生じるとされる網膜像の動きを予測して、その予測された動きを取り消す信号を出すことによって、自分の身体が動いている場合であっても、世界が止まって見えるように機能している。

【No. 4】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

現実には私たちは1秒に15回とか20回、舌を震わせることができる……巻き舌だ。「べらんめい」調の下町言葉のみならず、イタリア語やドイツ語で普通に使う「子音」だが、これを rrrrrrr と続けるとき私たちはたぶん、一つ一つの「拍打」を意識しない。少なくともベートーヴェンの第九で歌手が「おお友よ！ オ フロインデ！」と歌いだすときフロインデ Freunde の r で何回舌を巻いたか意識することはないし、数えることも普通はできない。

そしてこの1秒15回とか20回という頻度は、人間がリズムとして弁別できる高速限界であると共に、実は「可聴音」の最低音域でもある。ピアノの一番下のラの音は27.5ヘルツ程度の振動数だ。それより低い周波数を、人間が「聞くことができない」と誤解する人がいるがそれは違う。20ヘルツより下の周波数を人は「一瞬」の質、つまり音程として聴くことがないのだ。15ヘルツ、10ヘルツという頻度の音を私たちは「リズム」として捉える。別の表現をすれば、そこには前後関係、つまりパルスの中に「風景」がある。どれだけ早口でしゃべっても、発音頻度が10ヘルツ台であれば私たちは「きぬた」と「たぬき」を取り違えることがない。そこには音の前後関係に風景がある。でもこれをテープやCDを高速回転して聴けば、ペチャクチャいうノイズの塊になり「たぬき」と「きぬた」の違いはなくなる。音の前後知覚の分解能より早い変化を、私たちは認知できない。

つまり、人間が「リズム」として聞いているものと「音程」として聴く「質」は本質的には「頻度」つまり周波数の差でしかない、と宣言した作曲家がいた。カールハインツ・シュトックハウゼンだ。電子音響機器が充実し始めた1950年代後半、こうした事実を認識した彼は、3群のオーケストラのための「グルッペン」、4群のオーケストラと合唱のための「カレ」などの器楽作品を作曲したのち、ピアノ、打楽器とテープ録音した電子音響のための「コンタクテ」(1958~60)を完成させる。この作品は、いま紹介した「リズムと可聴音の連続性」そのものを音楽としてポンと投げ出したようなものだ。木魚の連打ならぬ合成音響のパルスがだんだん速くなると、やがてそれは最低音域の可聴音になる。また高音域からだんだんとピッチを下げゆくと、ついには最低音域で音の粒がポロポロと見え始め、。こんな人間の「聴こえ」の質的境界を自在に^{また}跨ぐ電子音響に、耳慣れた打楽器とピアノがおのおののリズムと音程の立場から呼応しあう。

1. かつて音程と聞こえたものはパルスのリズムに変わってしまう
2. そこから「拍打」を意識することで、分解できないノイズの塊が認識可能となる
3. シュトックハウゼンの目指した音色の美しさが電子音響ゆえに奏でられる
4. やがてその音も聞こえなくなり、パルスの頻度が高まっていく
5. 周波数にかかわらず、パルスの中の「風景」を感じづらくなる

【No. 5】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Prehistoric humans in Europe might have been sitting round campfires built to toast snacks as early as 250,000 years ago — 50,000 years earlier than originally thought, researchers have suggested. Human species have a long association with fire, with some sites suggesting its controlled use dates back more than 700,000 years in Africa and the Middle East and at least 400,000 years in Europe.

Now experts say they have found the earliest evidence in Europe for fires that could have been made for hanging out and heating food. “This is the oldest evidence of human-controlled fire meant for cooking and social interaction,” said Dr Clayton Magill, an assistant professor at Heriot-Watt University and an author of the study. Magill noted that prior to the new study, other evidence had suggested there were “organised” fires in Europe by 200,000 years ago, meaning there were signs they were laid out deliberately and used for particular purposes. “We’ve now pushed that date back 50,000 years,” he said. “That’s not to say that other locations don’t have that. However, we haven’t been able to show it systematically or robustly until now,” he added.

Writing in the journal *Scientific Reports*, Magill and colleagues in Spain report how they studied the Valdocarros II site, east of Madrid. The team say that not only did the site contain multiple hearths^{*1}, but that chemical analyses of substances within them suggested the fires burned at temperatures between about 280°C and 350°C. “That’s the sweet spot not for dedicated heating, or for persistently scaring animals, but rather for cooking,” said Magill.

The team also found evidence of degradation products from pine trees and fungus, suggesting rotten^{*2} pine wood had been burned. That, said Magill, was notable, because while found in the surrounding area, pine trees were not abundant locally to the site, suggesting the wood may have been deliberately collected.

“If we look at a lot of Indigenous peoples in the modern world, rotting wood is specifically sought out because it’s easier to burn at the sweet spot for temperatures for cooking,” he said.

It is unclear which species of early human might have used the fires, and traces of food have not been recovered from the hearths. However, the team are now analysing stone tools found near the hearths that show traces of animal fats and plants, as well as charred materials. “We’re starting to see that these fires had a purpose in addition to being controlled or in a central location,” said Magill, adding that there was a good likelihood they were used to heat food.

(注) *1 hearth : 炉床 *2 rotten : 腐朽した

1. 人類は古代から火を使用しており、アフリカと中東では、70 万年以上前に食べ物を温めるために火を使用していたことを示す形跡が見つっている。
2. Magill 氏らの研究以前にも、ヨーロッパでは 25 万年以上前から調理のために火が使用されていたことが体系的に示されていたが、スペインにおいてその明確な形跡を見つけたのは、Magill 氏らが初めてである。
3. Magill 氏らが研究対象としたマドリードの遺跡には、炉床が複数あり、それぞれの炉床は暖房に最適なものや調理に最適なものなど、日常の各用途に合わせて最適化されていた。
4. Magill 氏らは、腐朽した松の木材が燃やされていた形跡があるが、松の木が遺跡の周辺に豊富には存在していないことから、これらの木材が意図的に収集されていた可能性があると考えている。
5. Magill 氏らは、炉床の中から発見された動物の脂肪や植物などの食べ物の痕跡や、炉床の付近で発見された石器の形をもとに、遺跡に住んでいた人々が作っていた料理の再現を試みた。

【No. 6】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Should corporate executives' pay be tied to climate-related goals?

More company boards think so, as awareness grows that climate change could have an impact on corporate bottom lines*¹. 《中 略》

But experts say *how* a company ties pay to climate is crucial, with some methods more effective than others. Here's a look at some of those approaches.

For starters, climate-related goals have to be firmly rooted in science, says David Larcker, a professor and director of the Corporate Governance Research Initiative at the Stanford Graduate School of Business.

Companies that are serious about rewarding for climate goals should also break down their long-term targets into smaller, clearly achievable and measurable goals, says Larcker, who is also a distinguished visiting fellow at the Hoover Institution, a public-policy think tank. Companies should be sure to audit reported metrics for accuracy, he adds.

The metrics will differ by company, depending on where the biggest impact can be made, says John McCalla-Leacy, head of global ESG at KPMG International. He has clients, for instance, that focus heavily on reducing emissions within their supply chain, while others focus more on reducing emissions within their own operations.

“We believe that the best metrics for sustainability initiatives have a clear tie to the underlying business model and strategy,” says John Borneman, managing director of compensation*² consulting firm Semler Brossy. So, for example, an energy or distribution company will have a significant focus on carbon emissions, while a real-estate company will focus on energy efficiency, or a consumer-products company on sustainable sourcing and waste reduction, he says.

《中 略》

Even companies that are moving toward their climate targets can have setbacks due to reasons beyond their control, so there needs to be some flexibility built into compensation plans, says Paul Washington, executive director of the Conference Board ESG Center.

He offers the example of an acquisition in which the target company has significant greenhouse-gas emissions. As a combined company, overall emissions will be elevated, at least temporarily. In such cases, companies could exclude the acquired company's emissions for compensation purposes, allowing executives to be paid for the things within their control, he says.

Companies can also be flexible by giving executives partial rewards for efforts that fall short of the established goals. For instance, a compensation plan could call for an equity bonus of 100,000 shares for a 10% reduction in the company's carbon footprint but fewer

shares for a smaller reduction, Larcker says.

Some advocates of corporate action on climate issues urge companies to at least start feeling their way toward tying executive compensation to climate metrics.

“We don’t think you should let perfect get in the way of good,” says Steven Rothstein, managing director of the Ceres Accelerator for Sustainable Capital Markets. “If they have a good plan, but it’s not a perfect plan, we think they should start implementing that plan and update it as necessary.”

(注) *¹ bottom line : 最終損益 *² compensation : 報酬

1. 最高経営責任者(CEO)の報酬と気候関連の目標を連動させる施策は、企業の最終損益に大きく影響するため、取締役会において躊躇されるケースが多い。
2. 気候関連の目標は、企業が基盤とするビジネスモデルや戦略よりも、科学的根拠に基づいた計測可能な指標を踏まえて設定されるべきであると McCalla-Leacy 氏は述べた。
3. エネルギー関連企業は、不動産関連企業に比べて、気候変動が最終損益に与える影響が大きい
ため、気候関連の目標達成時に CEO に支払われる報酬額もより大きくなる傾向がある。
4. 気候関連の目標を達成したとしても、それが温室効果ガスの排出量が少ない企業を買収したことによる場合は、CEO への報酬は支払われないことが多い。
5. CEO のコントロールが及ばない要因により、気候関連の目標を達成できなかった場合には、CEO がコントロールできる要素に対して報酬を支払うなどの柔軟な対応も考えられる。

【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

Parts of icy Antarctica are turning green with plant life at an alarming rate as the region is gripped by extreme heat events, according to new research, sparking concerns about the changing landscape on this vast continent. Scientists used satellite imagery and data to analyze vegetation levels on the Antarctic Peninsula, a long mountain chain that points north to the tip of South America, and which has been warming much faster than the global average. They found plant life — mostly mosses — had increased in this harsh environment more than 10-fold over the past four decades, according to the study by scientists at the universities of Exeter and Hertfordshire in England, and the British Antarctic Survey, published Friday in the journal *Nature Geoscience*. Vegetation covered less than 0.4 square miles of the Antarctic Peninsula in 1986 but had reached almost 5 square miles by 2021, the study found. The rate at which the region has been greening over nearly four decades has also been speeding up, accelerating by more than 30% between 2016 and 2021. While the landscape is still almost entirely snow, ice and rock, this small, green area has grown dramatically since the mid-1980s, said Thomas Roland, a study author and environmental scientist at the University of Exeter.

《中 略》

As fossil fuel pollution continues to heat up the world, Antarctica will keep on warming and this greening is only likely to accelerate, the scientists predict. The more the peninsula greens, the more soil will form and the more likely the region will become more favorable for invasive species, potentially threatening native wildlife. “Seeds, spores and plant fragments can readily find their way to the Antarctic Peninsula on the boots or equipment of tourists and researchers, or via more ‘traditional’ routes associated with migrating birds and the wind — and so the risk here is clear,” he said.

《中 略》

Matthew Davey, associate professor of physiological ecology at the Scottish Association for Marine Science, and an expert on polar plant and microbe ecology, told CNN the study was “an important progression” for understanding plant life on Antarctica. There could even be more vegetation than identified, said Davey, who was not involved in the research. The methods used by the scientists would mainly detect larger, greener moss fields, he said. “But we know that there are also large areas of lichens^{*1}, grass and green and red snow algae^{*2} that will also contribute to the vegetation area in Antarctica.” While the actual area increase of plant life is small, he added, the percentage rise is dramatic and it shows “the trend that vegetation is spreading, albeit slowly, in Antarctica.”

(注) *¹ lichen : 地衣類 *² algae : 藻類

1. 南極半島の植生に関する研究において、過去 40 年間でコケなどの植物の分布面積が 10 倍以上に増加し、しかも最近は増加する速度が加速していることが報告されている。
2. Roland 氏は、南アメリカ大陸の南端から南極半島に渡航して植生について研究を行い、南極大陸の急速な温暖化に警鐘を鳴らした。
3. 南極半島に飛来する植物の種子の研究によると、近年は、渡り鳥などによって運ばれる種子より、観光客や研究者の靴などに付着して運ばれるものの方が、3 割以上多いことが分かった。
4. Davey 氏は、化石燃料が原因の粉塵汚染により、南極大陸では、氷上で繁殖している微生物に悪影響が及んでいると指摘した。
5. 南極半島では、地球温暖化が進行した結果、在来種のコケの分布域が減少し、外来種の地衣類、草などの分布面積が拡大していることが報告されている。

【No. 8】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

On a warm November day, a group of professors at Columbia University in New York set up “listening tables” near the center of campus and hailed students rushing to class, inviting them to stop and talk. About a dozen students, alumni and faculty members sat down, grabbed some free pizza and chatted about how the protests over the Israel-Hamas war had alienated some of them and inspired others.

《中 略》

Columbia has been holding weekly listening tables, hosted by a university research center called the Trust Collaboratory, since September. They are staffed by faculty members, students and administrators (including, at one point, the university president, Katrina Armstrong). They have become a place for hundreds of students to find community, “which really makes me happy,” said Cristian Capotescu, associate director of the Trust Collaboratory. “Once in a while, we leave the door open to mild confrontations,” he added. Indeed, the exchange the other day — with its feints and jabs, yet desire to engage — illustrated some of the promise and disappointments of this technique.

Calls for civility are common at times of crisis, but one historian cautioned that they can be problematic if they are mainly focused on containing the behavior of the protesters.

In the 19th century, many church leaders wanted to tamp down conflict within their churches over slavery and resorted to a posture of neutrality. “So they got very focused on preventing the discussion of slavery at all and seeing the debates as the problem, rather than the moral issues at hand,” April Holm, an associate professor of history at the University of Mississippi, said in an interview. That said, she added, “I think students should be talking to each other.” With catchphrases like “cultivating conversations,” “curious disagreement” and “respectful disagreement across differences,” advocates of civil discourse say the guiding principle is not to win the argument, but to understand the other person’s point of view.

《中 略》

John Rose is one of the founders of the Civil Discourse Project at Duke, which was formed before the Oct.7, 2023, Hamas attack out of a concern that “students were censoring too much,” he said. The meaning of civil discourse is often misunderstood, he said: “Civil discourse doesn’t require you to abandon your deeply held principles. It’s a way of discussing that recognizes the dignity of the other.”

Showing anger is permitted, he said. The only forbidden emotion is contempt.

1. リスニング・テーブルでは、イスラエルとハマスの戦争に関する議論を避けるため、大学の教職員やボランティアなどが学生たちの議論を常に見守っている。
2. 議論そのものを阻止したり、抗議活動を封じ込めることに力を入れすぎると、かえって問題が生じるおそれがあるので、議論を続けることも求められる。
3. 19世紀、教会の指導者の多くは、道徳的観点から奴隷制を問題視し、奴隷制をめぐる議論の場として教会を広く市民に開放した。
4. 長年にわたる大学関係者やボランティア団体の働きかけにより、理解促進のための市民の対話の意義は学生たちに広く浸透し、理解されるようになった。
5. 建設的な議論を行う上で求められるのは、議論に勝つことに執着することなく、自分の意見を主張せずに相手の意見を優先することである。

【No. 9】 次の文の に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

There's a lot of fear around spending time alone. Alone time can make people itchy with boredom. It can carry a stigma (especially if you're single). Worse, recent articles and studies warn us about the dangers of loneliness — one 2017 study by Julianne Holt-Lunstad at BYU's Social Connection & Health Lab claims loneliness is as bad as smoking 15 cigarettes a day. In 2023, U.S. Surgeon General Vivek Murthy published an advisory all about the epidemic of loneliness in America. It details the genuine risks of chronic loneliness, such as increased rates of anxiety and depression, as well as dementia in older adults.

The message? Loneliness isn't just bad for you; it's a killer.

But while it is a serious health problem, what gets lost in these conversations is that not all alone time is the same. There's chronic loneliness — and there's solitude. One is a dangerous epidemic. The other is a skill we need to nurture.

What is chronic loneliness? It occurs when there is unhappiness about a lack of companionship or a perceived sense of social isolation. Being physically alone isn't the only way to feel lonely. A person can feel lonely while a partner is disrespecting them. Or being surrounded by a group of people with whom they feel like an outsider.

But not all loneliness is a health issue. As the surgeon general's advisory notes, the “transient feelings of loneliness may be less problematic, or even adaptative than chronic loneliness.”

That's a helpful distinction.

Being alone is when you happen to be by yourself. We do so many activities alone that don't come with the stigmas or dangers of chronic loneliness — reading a book, doing an art project, cooking a meal, or running errands. This kind of alone time is healing and important. Whether you are single or in a relationship, solitude is a neutral-to-positive state of being free of the demands of others. While , solitude can be the opposite. Even just 15 minutes of solitude can help you regulate your emotions. Solitude also provides the space for creative thinking to happen. Finding time for solitude can help you gain deeper self-knowledge.

1. chronic loneliness is socially admired
2. chronic loneliness threatens our health
3. chronic loneliness makes us more active
4. transient feelings of loneliness break our relationships
5. transient feelings of loneliness keep our minds depressed

【No. 10】 次の と の文の間に、ア～オを並べ替えて続けると意味の通った文章になるが、その順序として最も妥当なのはどれか。

Traditional methods of diagnosing mental-health conditions require patients to speak directly to a psychiatrist. Sensible in theory, such assessments can, in practice, take months to schedule and ultimately lead to subjective diagnoses.

ア：By analysing the acoustic properties of speech, these AI^{*1} models can identify markers of depression or anxiety that a patient might not even be aware of, let alone able to articulate.

イ：Though individual features like pitch, tone and rhythm each play a role, the true power of these models lies in their ability to discern patterns imperceptible to a psychiatrist's ears.

ウ：That is why scientists are experimenting with ways to automate this process. AI tools trained to listen to patients have proved capable of detecting a range of mental-health conditions, from anxiety to depression, with accuracy rates exceeding conventional diagnostic methods.

エ：But test-based AI has limitations. Cultural nuances, language barriers, and different levels of fluency can skew results. LLMs^{*2} have also been shown to reflect the linguistic biases prevalent in society: in one study, an LLM failed to diagnose depression in black patients compared with white counterparts.

オ：AI has been used by mental-health professionals before. LLMs, for example, can trawl^{*3} transcribed interviews for patterns of speech and contextual cues symptomatic of psychological disorders.

Moreover, LLMs are known to “hallucinate”—which is to say they generate plausible-sounding but factually incorrect information. This shortcoming is particularly problematic in a field where accuracy can mean the difference between appropriate treatment and misdiagnosis.

That is why the new methods under development do not pay attention to individual words but rather to how those words are spoken.

(注) ^{*1} AI：Artificial-intelligence の略 ^{*2} LLM：Large language model の略

^{*3} trawl：～の中を探す

1. イ→ア→エ→オ→ウ
2. イ→オ→エ→ウ→ア
3. ウ→ア→イ→オ→エ
4. ウ→イ→ア→エ→オ
5. ウ→オ→エ→ア→イ

【No. 11】 ある公民館で、絵画教室、木工教室、陶芸教室、生け花教室の4種類のワークショップが開催され、参加者60人の参加状況を調査したところ、次のことが分かった。このとき、論理的に確実にいえるのはどれか。

- 参加者は少なくとも1種類のワークショップに参加しており、そのうち絵画教室に参加した人は合計で2種類以上のワークショップに参加し、木工教室に参加した人は絵画教室と生け花教室のどちらにも参加しなかった。
- 陶芸教室と生け花教室の2種類のみに参加した人の人数は、3種類のワークショップに参加した人の人数より2人多かった。
- 陶芸教室と生け花教室のどちらにも参加した人の人数は、絵画教室と陶芸教室の2種類のみに参加した人の人数と同じだった。
- 木工教室と陶芸教室の2種類のみに参加した人の人数と、絵画教室と生け花教室の2種類のみに参加した人の人数と、生け花教室のみに参加した人の人数は同じだった。
- 木工教室のみに参加した人の人数と生け花教室のみに参加した人の人数の和は、陶芸教室のみに参加した人の人数と同じで、16人だった。
- 生け花教室に参加しなかった人は40人だった。

1. 絵画教室と木工教室のどちらにも参加しなかった人は27人だった。
2. 絵画教室と陶芸教室のどちらにも参加した人は5人だった。
3. 木工教室に参加しなかった人は48人だった。
4. 生け花教室に参加したが、陶芸教室に参加しなかった人は10人だった。
5. 3種類のワークショップに参加した人は6人だった。

【No. 12】 塩ラーメン、味噌ラーメン、チャーハン、焼きそば、牛丼の5種類の冷凍食品があり、A～Eの5人が、昼食としてこの中から好みの1種類を選んで食べる。好みの冷凍食品は、Aは塩ラーメンと味噌ラーメンと焼きそば、Bは塩ラーメンと味噌ラーメンとチャーハン、Cはチャーハンと牛丼、Dは焼きそばと牛丼、Eは味噌ラーメンとチャーハンである。また、焼きそばと牛丼については、いずれも誰かが選ぶ必要があるが、それ以外の種類については選ばれなくてもよい。このとき、A～Eが選ぶ冷凍食品の組合せは何通りか。なお、冷凍食品は5種類とも十分な数があるものとする。

1. 27通り
2. 30通り
3. 33通り
4. 36通り
5. 39通り

【No. 13】 ある精肉店で、牛肉、豚肉、鶏肉、羊肉の四つの商品が売れ残り、店員A～Gの7人のいずれかが持ち帰ることになった。その方法は次のとおりである。

- ・ A～Eの5人は、それぞれ希望する商品を一つだけ申請し、その申請が他の4人と重ならなかった場合に、その商品を持ち帰る。
- ・ 申請が重なった商品は全て、Fが持ち帰る。
- ・ 誰も申請しなかった商品は全て、Gが持ち帰る。

いま、この方法に従って、A～Eの5人が申請を行い、A～Gの7人がそれぞれ持ち帰る商品を決めた。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- Aは牛肉及び鶏肉を申請しなかった。
- Bは豚肉及び羊肉を申請しなかった。
- Cは牛肉及び鶏肉を申請しなかった。
- Dは豚肉を申請した。
- Eは牛肉を申請した。
- A～Gの7人のうち、いずれの商品も持ち帰らなかったのは、3人であった。

1. 牛肉はFが持ち帰った。
2. 豚肉はDが持ち帰った。
3. 鶏肉はBが持ち帰った。
4. 羊肉はAが持ち帰った。
5. 羊肉はGが持ち帰った。

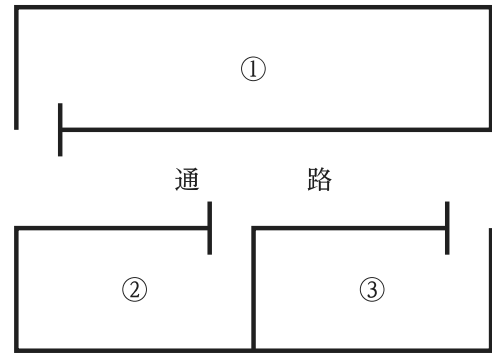
【No. 14】 A～Gの7人が、1～7の数字が書かれたカードが1枚ずつ入った袋から、順に一人ずつ1枚のカードを取り出し、カードに書かれた数字を自分の得点とするゲームを行う。このとき、全員がカードを取り出すまでは、カードは袋に戻さない。このゲームを2回行い、それぞれのゲームで得た得点の合計が大きい順に順位を決めた。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、二人以上の者が同じ順位になることはなかったものとする。

- 1回目のゲームで得た得点は、Dは3点、Eは7点であった。
- 2回目のゲームを終えた後の合計得点は、Aは3点、Bは6点、Fは11点であった。
- 順位は、Eが1位、Gが2位、Cが6位、Aが7位であった。

1. Aが1回目のゲームで得た得点は1点である。
2. Bが2回目のゲームで得た得点は4点である。
3. Cが2回目のゲームで得た得点は3点である。
4. Dの順位は5位である。
5. Fが2回のゲームのうち、どちらかのゲームで得た得点は4点である。

【No. 15】 図のように①、②、③の三つのブースで構成されているイベント会場で、ミニライブが開催された。各ブースともミニライブを第1回から第6回までの6本開催することになっており、A～Eの5人がいずれも、三つ全てのブースをそれぞれ1度だけ訪れて、6本のミニライブを鑑賞することにした。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。



ただし、同じ回のミニライブは、三つのブースで同時刻に始まり、同時刻に終わる。また、ブース間の移動はミニライブの開催中には行わず、同じ回のミニライブを複数のブースで同時に鑑賞することはできない。さらに、訪れたブースでは、1本以上のミニライブを鑑賞するものとする。

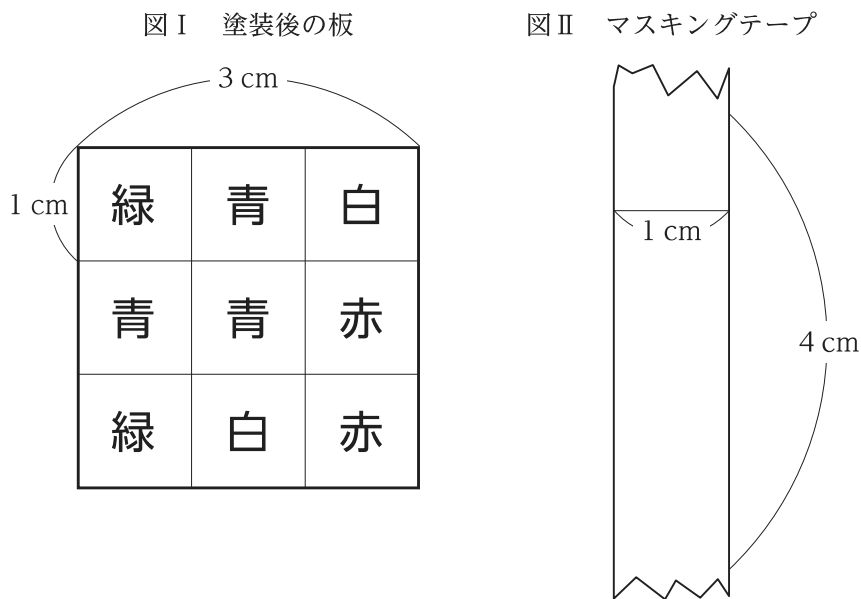
- 三つのブースを訪れた順番は、A～Eの5人とも異なっていた。
- BとCが三つのブースを訪れた順番は逆であり、また、Bがミニライブを鑑賞しているブースは、どの回でも、Cが鑑賞しているブースと通路を挟んで反対側にあった。
- Aは、最初に②を訪れて2本のミニライブを鑑賞した直後に①を訪れた。
- CとDは、同時に③を出た直後に、一緒に①を訪れた。
- AとBが同じブースで鑑賞したミニライブは①での2本だけであり、AとEが同じブースで鑑賞したミニライブは②での1本だけであった。

1. Aは、第5回のミニライブをDと同じブースで鑑賞した。
2. Bは、第4回のミニライブをDと同じブースで鑑賞した。
3. Cは、第3回のミニライブをEと同じブースで鑑賞しなかった。
4. Dは、①でBと一緒に鑑賞した。
5. Eは、②でCと一緒に鑑賞しなかった。

【No. 16】 3 cm 四方の正方形の板があり、細い溝で 1 cm 四方の正方形のマス目に区切られている。青、赤、白、緑の 4 色の塗料と、幅 1 cm 長さ 4 cm の長方形のマスキングテープ(塗装したくない部分を覆う目的で使用するテープ) 7 枚を用いてこの板を塗装したところ、それぞれのマス目の色は図 I のようになった。次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

ただし、マスキングテープは、図 II のような形であり、縦又は横に連続する、1 cm 四方の正方形のマス目三つを完全に覆うために使用するものとする。

- 4 色の塗料をそれぞれ 1 回だけ使用し、順番にスプレーで板全体に吹き付けて色を塗った。
- マスキングテープを重ねることはあったが、折ったり切ったりすることはなかった。
- 7 枚のマスキングテープはそれぞれ 1 回だけ使用し、色を 1 回塗るごとに貼ったテープを全てはがした。
- 白色の塗料はラッカー塗料、青色、赤色、緑色の塗料はエナメル塗料であった。
- ラッカー塗料の上にはラッカー塗料とエナメル塗料のいずれも塗ることができるが、エナメル塗料の上にはエナメル塗料しか塗ることができないため、ラッカー塗料をエナメル塗料の上に塗ることはしなかった。



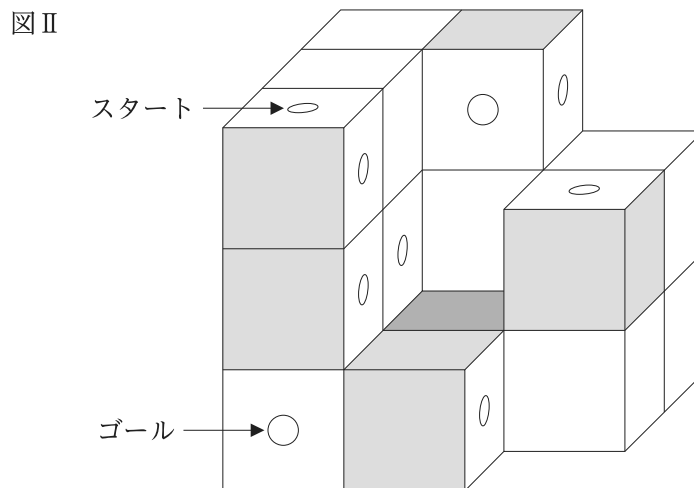
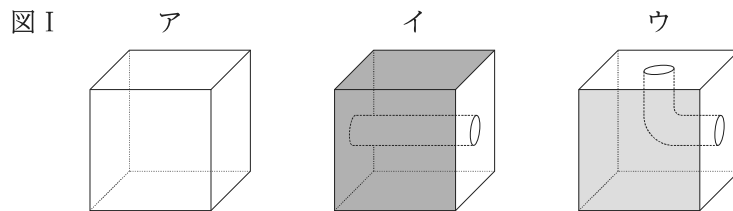
1. 2 番目に塗ったのは青色だった。
2. 3 番目に塗ったのは赤色だった。
3. 4 番目に塗ったのは緑色だった。
4. 青色を塗るときにマスキングテープで覆われていたマス目の数は、緑色を塗るときにマスキングテープで覆われていたマス目の数と等しい。
5. 赤色を塗るときにマスキングテープで覆われていたマス目の数は、青色を塗るときにマスキングテープで覆われていたマス目の数より多い。

【No. 17】 図 I のような、一辺の長さが 1 の 3 種類の立方体ア、イ、ウがある。アはいずれの面にも穴が開いておらず、色が塗られていない立方体であり、イ、ウは二つの面の中心を結ぶように貫通した穴が開いており、穴が開いていない四つの面の表面にイとウで異なる色が塗られた立方体である。イ、ウに開いている穴はボールが通過できる大きさであり、穴が開いている面どうしが接しているとき、ボールは立方体間を移動できる。

ここで、スタートの穴から入れたボールが、穴が開いている立方体の中を全て通過してゴールの穴から出るような、一辺の長さが 3 の立方体を作ることを考える。

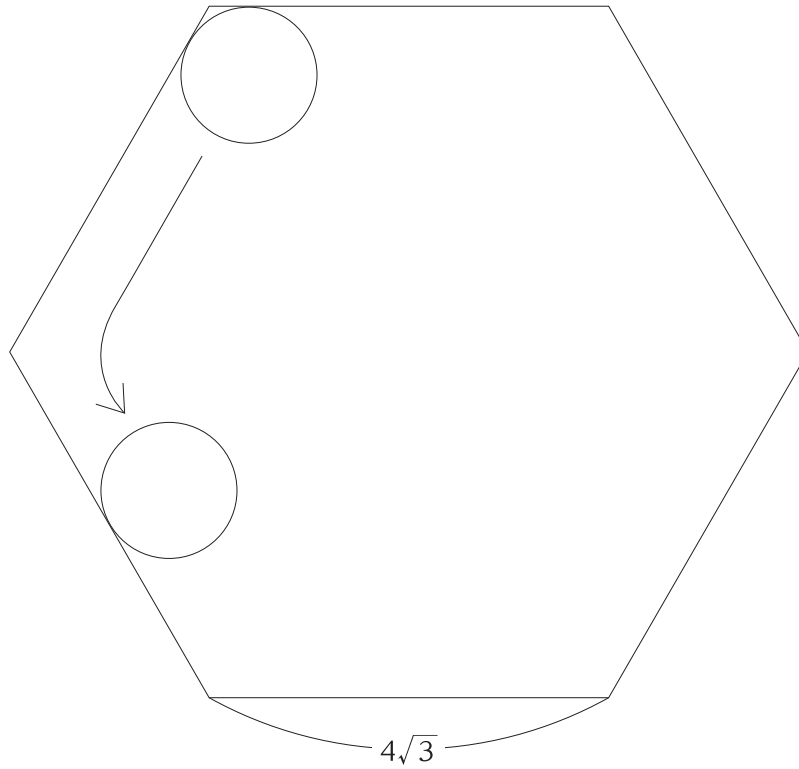
図 II は、この立方体を作るために、7 個のアと 11 個のイ又はウの計 18 個を使用して組み立てた立体である。これに残り計 9 個のア、イ、ウを組み合わせて立方体を完成させるとき、ア、イ、ウはそれぞれあといくつ必要か。

ただし、ボールは、穴を通過する途中で止まることはなく、下から上に動くことはないものとする。また、ア、イ、ウはどの向きで使用しても構わない。



	ア	イ	ウ
1.	0 個	2 個	7 個
2.	1 個	2 個	6 個
3.	1 個	3 個	5 個
4.	2 個	2 個	5 個
5.	2 個	3 個	4 個

【No. 18】 一辺の長さが $4\sqrt{3}$ の正六角形の内側を、半径 1 の円が正六角形の各辺に接しながら回転して元の位置に戻るまで 1 周する。このとき、正六角形の面積からこの円が通過した部分を除いた面積はいくらか。



1. $32\sqrt{3} - \frac{\pi}{2}$
2. $32\sqrt{3} - \pi$
3. $32\sqrt{3} - 2\pi$
4. $34\sqrt{3} - \frac{\pi}{2}$
5. $34\sqrt{3} - \pi$

【No. 19】 日付を0～9の数字を用いた8桁の数で表すこととする。例えば、2024年5月13日を「20240513」と表し、これは2、0、4、5、1、3の6種類の数字で構成されている。ここで、2025年1月1日から同年12月31日までの1年間の日付を8桁の数で表すと、3～6種類の数字で構成されるが、このうち、6種類の数字で構成される日付は何日あるか。

1. 30日
2. 32日
3. 34日
4. 36日
5. 38日

【No. 20】 X氏は出張のため、ある町に3泊することになった。この町にはA～Eの五つのホテルがあり、X氏はB、C、Dに1泊ずつすることにした。A～Eの宿泊料について次のことが分かっているとき、3泊の宿泊料の合計はいくらか。

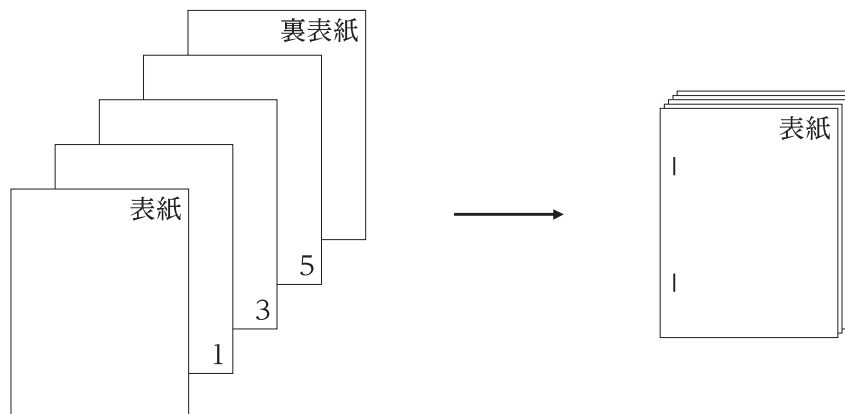
- A～Eの1泊の宿泊料はいずれも異なっており、また、宿泊料の安いものから順にA、B、C、D、Eとなっている。
- A～Eのうち三つのホテルに1泊ずつするとき、3泊の宿泊料の合計が最も小さい組合せでは23,000円となる。また、3泊の宿泊料の合計が最も大きな組合せでは32,000円となる。
- Aの1泊の宿泊料は、1,000円や1,500円などの500円単位である。
- B、C、Eに1泊ずつすると、3泊の宿泊料の合計は31,000円となる。
- Dの1泊の宿泊料は10,500円である。

1. 27,500円
2. 28,000円
3. 29,500円
4. 30,000円
5. 30,500円

【No. 21】 一定サイズの紙を複数枚重ねて、折り目を付けずに作成される冊子があり、表紙と裏表紙となる紙を除いたそれぞれの紙の両面には、表面、裏面の順に、ページ番号が1から順番に振られている。ただし、裏表紙の直前にある紙については、裏面が白紙である場合、表面にのみページ番号が振られ、裏面にはページ番号が振られない。このような冊子から、紙を1枚切り離し、冊子に残った紙のページ番号の総和を考える。

例えば、図のように、5枚の紙を用いて冊子を作成するとき、裏表紙の直前にある紙の裏面が白紙の場合は1～5、白紙でない場合は1～6のページ番号が振られることとなる。振られているページ番号が1～6の場合、そのページ番号の総和は21であり、ここから3と4が振られた紙を切り離すと、冊子に残った紙のページ番号の総和は14となる。

いま、総ページ数が分かっていない冊子において、ある紙を1枚切り離したところ、冊子に残った紙のページ番号の総和は1,000になった。このとき、切り離した紙の表面と裏面に振られている二つのページ番号の和はいくらか。なお、裏表紙の直前にある紙の裏面が白紙の場合は、二つのページ番号の和は表面のページ番号とする。



1. 11
2. 35
3. 47
4. 67
5. 83

【No. 22】 図は、A地域でのP感染症の患者数について、ある年の4月1～20日の直近5日間移動平均を示したものであり、表は、その間の特定の日におけるP感染症の患者数を示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、直近5日間移動平均とは、4日前から当日までの5日間の値の平均であり、例えば、1月1日が1人、2日が2人、3日が3人、4日が4人、5日が5人の場合、1月5日の直近5日間移動平均は3.0人である。

図 患者数(直近5日間移動平均)

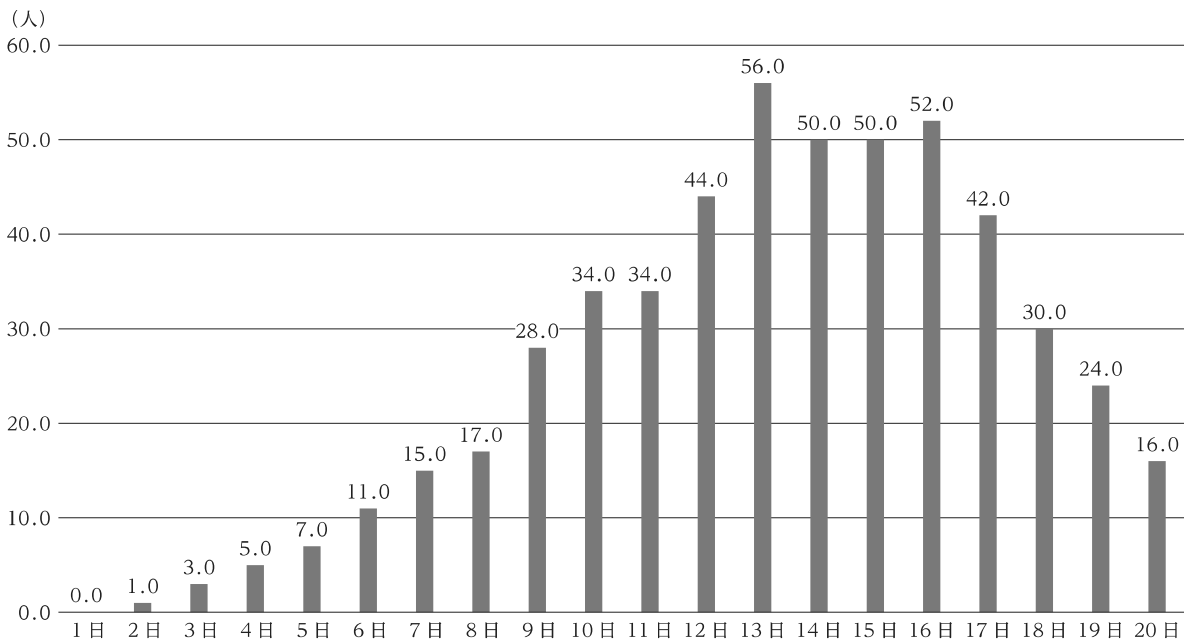


表 患者数(特定の日)

月 日	患者数(人)
4月 1日	0
4月 7日	25
4月 17日	25
4月 20日	0

1. 4月1～20日の20日間の平均の患者数は32.5人である。
2. 4月1～20日の中で、最も患者数が多い日は4月14日である。
3. 4月7～13日の間、患者数は一貫して増加している。
4. 4月15日の患者数は4月3日の患者数の4倍である。
5. 4月20日の患者数の対前日減少数は、4月17日のその3倍である。

【No. 23】 表Ⅰは、ある国の10歳以上の者を対象に、2016年及び2021年における年齢階級別の「旅行」の行動者率を調査した結果を、表Ⅱは、各調査年の10歳以上人口の年齢階級別構成比を、それぞれ示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、行動者率とは、対象人口に占める、過去1年間に該当する種類の活動を行った者の割合をいい、同一の者が複数の種類の活動を行った場合は、それぞれの活動の行動者率に含まれるものとする。

表Ⅰ 年齢階級別の「旅行」の行動者率

(単位：%)

		2016年	2021年		
旅 行	10～29歳	67.6	43.0		
	30～49歳	65.7	38.5		
	50～69歳	58.7	31.2		
	70歳以上	39.9	16.3		
	全 体	59.1	32.3		
	国内旅行	10～29歳	66.3	42.8	
		30～49歳	64.8	38.4	
		50～69歳	57.3	31.1	
		70歳以上	39.3	16.2	
		全 体	58.0	32.2	
		観光旅行	10～29歳	57.2	34.2
			30～49歳	54.8	29.8
			50～69歳	47.3	23.2
			70歳以上	33.2	13.0
			全 体	48.9	25.0
	帰省などの旅行	10～29歳	30.5	20.0	
		30～49歳	32.4	18.3	
		50～69歳	24.5	13.8	
		70歳以上	13.2	4.9	
		全 体	26.0	14.3	
海外旅行	10～29歳	9.4	0.6		
	30～49歳	7.2	0.4		
	50～69歳	8.0	0.3		
	70歳以上	3.6	0.2		
	全 体	7.2	0.4		

表Ⅱ 10歳以上人口の年齢階級別構成比

(単位：%)

	2016年	2021年
10～29歳	21.1	20.8
30～49歳	30.1	28.1
50～69歳	29.5	28.3
70歳以上	19.3	22.8
全 体	100	100

1. 10歳以上人口全体に占める、「旅行」を行った「10～29歳」の割合(%)を2016年と2021年で比べると、10ポイント以上の差がある。
2. 2016年の調査結果についてみると、「30～49歳」全体に占める、「国内旅行」の「観光旅行」も「海外旅行」も行わずに、「国内旅行」の「帰省などの旅行」のみを行った「30～49歳」の割合は、5%以上である。
3. 2021年の調査結果についてみると、「旅行」を行った「70歳以上」の数は、「旅行」を行った「50～69歳」の数の50%以上である。
4. 2021年の調査結果についてみると、「国内旅行」を行った者全体に占める、「観光旅行」と「帰省などの旅行」のいずれも行った者の割合は、20%以上である。
5. 2021年に「海外旅行」を行った者の数は、2016年のそれに比べて、いずれの年齢階級においても5%以下である。

【No. 24】 図及び表は、ある国のある年の大統領選挙の結果を示したものである。この国の大統領選挙は、勝者総取り方式を採用しており、州ごとに総投票数の過半数を得た候補者がその州の選挙人を全て獲得する。また、この大統領選挙ではX氏とY氏のみが立候補しているものとする。図は州ごとの得票率(総投票数に占める、X氏又はY氏が獲得した投票数の割合)を示したものであり、表は州ごとの総投票数及び選挙人の数を示したものである。これらから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

図 州ごとの得票率

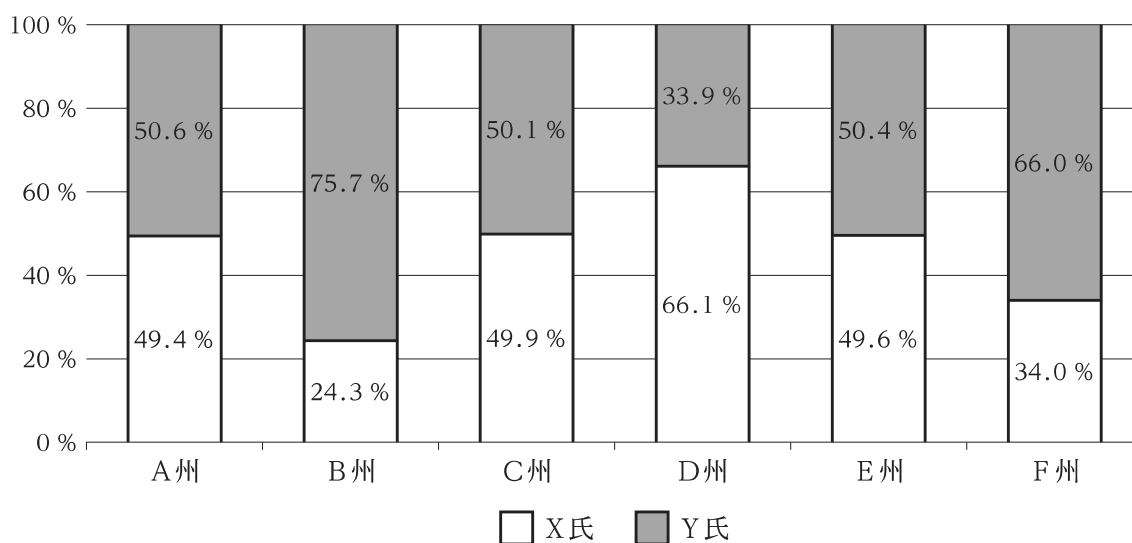


表 州ごとの総投票数及び選挙人の数

	総投票数	選挙人の数
A州	9,122,861	29
B州	230,392	3
C州	4,548,382	16
D州	13,237,598	55
E州	5,897,174	20
F州	345,179	3
合計	33,381,586	126

1. 選挙人1人当たりの投票数についてみると、A州よりD州の方が多かった。
2. B州でのX氏とY氏との得票数の差は、C州でのそれより少なかった。
3. A～Fの6州合計のX氏の得票数は、Y氏のそれより少なかった。
4. A～Fの6州合計のX氏が獲得した選挙人の数は、Y氏のそれより多かった。
5. A～Fの6州合計で選挙人の数を20%以上獲得するために必要な最低得票数は、6州合計の総投票数の10%より少なかった。

< 出典 >

・No.1

河合隼雄、「子どもと学校」、岩波書店

・No.2

藤井聡、「なぜ正直者は得をするのか 「損」と「得」のジレンマ」、幻冬舎

・No.3

乾敏郎、門脇加江子、「脳の本質 いかにしてヒトは知性を獲得するか」、中央公論新社

・No.4

伊東乾、「なぜ猫は鏡を見ないか？ 音楽と心の進化誌」、NHK 出版

・No.5

Scientists find oldest known evidence of humans in Europe using fires to cook by Nicola Davis.
Copyright Guardian News & Media Ltd 2025

・No.6

Used with permission of Dow Jones & Company, Inc., from How to Make Climate Progress: Tie It to CEO Pay, Cheryl Winokur Munk, The Wall Street Journal, Apr 17, 2024; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

・No.7

From CNN.com. © 2024 Cable News Network. A Warner Bros. Discovery Company. All rights reserved. Used under license.

<https://edition.cnn.com/2024/10/04/climate/antarctica-greening-vegetation-satellite-images>

・No.8

To dial down campus tensions, colleges teach art of conversation by Anemona Hartocollis © The New York Times Company

・No.9

The Beauty of Being Alone by Meghan Keane. Copyright © 2024 by Meghan Keane. Used by permission of Meghan Keane.

・No.10

Used with permission of The Economist Newspaper Limited, from AI offers an intriguing new way to diagnose mental-health conditions, The Economist, Oct 2, 2024; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

CP-2025 基礎能力 I

正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答
1	4	11	1	21	2
2	5	12	2	22	4
3	5	13	3	23	4
4	1	14	3	24	5
5	4	15	1		
6	5	16	3		
7	1	17	3		
8	2	18	5		
9	2	19	2		
10	3	20	4		

CP-2025 基礎能力 II

正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答
1	4	11	3	21	5
2	5	12	5	22	5
3	3	13	1	23	3
4	1	14	4	24	1
5	4	15	3	25	5
6	2	16	4	26	2
7	1	17	3	27	1
8	1	18	4	28	2
9	2	19	2	29	5
10	3	20	2	30	4